

# 【記載例】

## 農地の利用権設定申出書〔A.借り手用〕

整理番号 号

令和 年 月 日

三木市長 仲 田 一 彦 様

申出人 住 所 三木市〇〇町〇〇番地  
フリガナ ミキ タロウ  
氏 名 三木 太郎 印 ← 認印  
連絡先(電話) (〇〇) 〇〇〇〇

下記のとおり、農地の利用権の設定を受けたいので申し出ます。  
記

- 利用権の設定を受けたい理由
  - 経営規模の拡大
  - 経営移譲年金の受給
  - 相手方の要望
  - その他 ( )
- 希望する貸し手農家
  - 誰でもよい [ A.集落内 B.集落外 ]
  - 次の者から借りたい [ 住所 三木市〇〇町 〇〇番地 氏名 三木花子 ]

- 現在の農業経営状況
  - 経営耕地面積(利用権の設定を受ける前の面積)
 

※ ( ) 内は農地法、農業経営基盤強化促進事業で既に借り受けている面積

経 営 面 積	田	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	主な経営作目名等	
	畑	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	作 目 名	規 模
	樹園地	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	水 稻	80 a
	施設用地	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	野 菜	a
	採草放牧地	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	施設園芸(花き)	10 a
	その他( )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	果 樹	a
	計	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	その他( )	a

農家台帳面積より市で記入します

細目書より記入

- (2) 専・兼業の種類 **該当に○を記入**  
A. 専業農家 **○** 兼業農家 (a.農業が主・b.兼業が主) C. 非農家(法人)

(3) 労働状況 (15歳以上の方について記入してください。)

世帯員	氏 名	年 齢	性 別	続 柄	職 業	農作業従事日数
		三木 太郎	〇歳	男	世帯主	会社員兼農業
	常 時 雇	年間延べ人数日数	男 人	日・女	人	日
	季節又は臨時雇	年間延べ人数日数	男 人	日・女	人	日

(4) 現在の主な農機具の保有及び家畜の飼養状況

種 類	農 機 具 の 保 有 台 数			家 畜 の 飼 養 頭 羽 数	
	個人(台)	共有(台)	共有人数	種 類	数 量
トラクター	1		人	酪農(乳牛)	頭
コンバイン	1		人	肉用牛	頭
田植機	1		人	養 鶏	羽
乾燥機	1	1	人	養 豚	頭
防除機	1		人		

4 通作距離

- (1) 今回借り受けた農地までの通作経路の距離 **該当に○を記入**  
**○** A. 1km未満 B. 1~5km C. 5~10km D. 10~20km E. 20km以上

# 【記載例】

## 農地の利用権設定申出書 [B.貸し手用]

整理番号  号

令和 年 月 日

三木市長 仲 田 一 彦 様

申出人 住 所 三木市〇〇町〇〇番地  
フリガナ ミキ ハナコ  
氏 名 三木 花子  ← 認印

農業者年金加入の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
相続税・贈与税の納税猶予適用	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>

連絡先(電話) (〇〇)〇〇〇〇

下記のとおり、農地の利用権の設定を受けたいので申し出ます。

記

### 1 利用権の設定を希望する農地

登記簿面積を記入 該当に○を記入

#### (1) 各筆明細

大字	字	地番	地目	面積 (㎡)	所有者名等	設定状況
						新規・再設定 <input checked="" type="checkbox"/>
						新規・再設定
						新規・再設定
						新規・再設定
						新規・再設定
計		筆		㎡		

※ 上記所有者等以外の権原者（所有等の権原者が複数ある場合記入ください）

(住所 氏名 権原 所有・贈与・( ))

#### (2) 農地の所在する集落のほ場整備状況

該当に○を記入

A. 整備済8割以上 B. 5～8割 C. 2～5割 D. 2割未満 E. 未整備

### 2 経営耕地面積（利用権の設定をする前の面積）

(1) 自作地 ㎡ (2) 小作地 ㎡ 合計 (1) + (2) ㎡

↑  
農家台帳面積より市で記入します

(以下については、該当するところに○印又は数値を記入してください。)

## 小作料ありの場合

### 3 希望する利用権の種類等

(1) 利用権の種類  A.賃貸借 B.使用賃借（無償）

(2) 利用内容  A.稲作 B.普通畑 C.転作田 D.その他 ( )

(3) 10a（1反）当りの賃借料 [ 円] (金融機関名： )  
及び支払方法 A.農協、銀行等の口座に振り込み B.住所地に持参払い

↑  
双方で話し合いの上、記入  
↓

(4) 設定の終了期日 [令和 ( ) 年3月31日] (存続期間は、1年、3年、6年又は10年)

### 4 希望する借り手農家

(1) 誰でもよい [A.集落内 B.集落外 ]

(2) 次の者に貸したい [住所 三木市〇〇町〇〇番地 氏名 三木太郎 ]

### 5 現在の農業経営状況

(1) 専・兼業の種類 該当に○を記入  
A. 専業農家 B.兼業農家 (a.農業が主・b.兼業が主)  C.非農家 (法人)

#### (2) 世帯主の農業従事状況

[氏名 三木花子 年齢 70 歳 職業 無職 農業従事日数 0 日]

#### (3) 農業労働力の有無

農業専従者（農業従事日数が150日以上のある者、うち ( ) は16以上64歳以下）  
[ 男 人 ( ) ・女 人 ( )  なし ]

### 6 農地を貸したい理由

該当に○を記入

(1) 経営移譲年金の受給 (5) 病気等で労力不足  
(2) 農業の廃止 (6) 水田営農活性化対策による水田転作  
(3) 兼業による経営規模の縮小 (7) 相手方の要望  
 (4) 高齢化 (8) その他 ( )